

## なぜ勉強するの？

宿題が面倒だな、勉強が嫌だな……。そんなとき、「なぜ勉強するのだろうか？」と1度も考えたことはありませんか？ また、保護者の皆様も、お子様よりそのように問われ、どのように答えようか？悩んだこともあるのではないのでしょうか。

「将来に役に立つから」「いい仕事につくため」「人生の選択肢が広がる」「勉強する意味なんてない」…。皆さんは、どんな答えを思い浮かべましたか？ここで3つの考えを紹介したいと思います。



A

えりこ「お金は使ったらなくなってしまうでしょう。でも幸福っていうのは、使ったらなくなるような形のあるものじゃないのよ」  
カズ「幸せっていうのはさあ……」  
えりこ「それを分かるために勉強するんじゃないの？それが勉強じゃないの？」

映画「学校」  
下町の夜間中学校教師の黒井が、卒業を控えた様々な境遇の生徒たちと人生について語り合ううちに、生徒のカズとえりこが幸福について語り合い始めた場面。

B

およ 凡そ学をなすのは要は己が為にするあり。  
己が為にするは君子の学なり。  
人の為にするは小人の学なり。



吉田松陰「講孟節記」  
「何のために学ぶのかと言えば、自分を磨くためにある。自分のために学ぶこそが、立派な人になろうと志す人の学びである。人に褒められるために学ぶとは、とるに足らない人の学びである。」

C

満男「おじさん、大学へ行くのは何のためかな。」  
寅「決まっているでしょう。これは勉強するためでしょう。」  
満男「じゃあ、何のために勉強するのかな。」  
寅「うん……そういう難しいことをきくなって言ったら、おまえに。つまり、あれだよ、ほら、人間、長〜い間、生きていければ、いろんなことにぶつかると、な。そんな時に、俺みえに勉強していないやつは、この振ったサイコロで出た目で決めるとか、その時の気分で決めるよりしょうがないな。ところが、勉強したやつは、自分の頭で、きち〜んと筋道を立てて、はて、こういう時はどうしたらいいかなと考えることができるんだ。だから、みんな大学に行くんじゃないか。」

映画「男はつらいよ 寅次郎サラダ記念日」  
主人公の寅さんの甥・満男（大学受験生）が、土手で寝ころびながら叔父に話しかけている場面。

皆さんは、この3つを読んで共感できるもの・共感できる部分はありましたか？「なぜ勉強するのか？」について、もちろん、コレ！という正解はありません。人によっても、ライフステージによっても、その答えは大きく変わっていきます。

中学生の皆さんは、この「勉強する理由」について多様な考えに触れ、自分なりの答えを見つけることが大切です。友人や、皆さんの身の回りにいる大人の人にもぜひ、聞いてみてください。



やってみよう！ < なぜ勉強するのか？ >

自分の考え

他者の考え（友人や周りの大人の人に聞いてメモしてみよう！）

他者の意見を聞いた後の自分の考え

